

■くらしき東エリア／倉敷市・早島町 ■倉敷西エリア／倉敷市玉島・倉敷市船穂町・浅口市・里庄町
■吉備路エリア／総社市・倉敷市真備町 ■西部エリア／井原市・高梁市川上町弥高

くらしき
東

「健康ふれあい館」がオープン 快適で健康な生活の手助けを

フジ医療器の健康器具を体感できる「健康ふれあい館」が11月28日、庄支店2階にオープンしました。

このイベントは、地域住民の健康づくりの手助けや、ふれあい館を憩いの場とした、住民同士の交流も目的としています。来場者は、血行を改善する健康器具を無料で体験し、インストラクターの楽しい話で会場は盛り上がっていました。

「健康ふれあい館」は、1月下旬まで開催する予定ですが、好評の場合は期間延長する予定です。



オープンの挨拶をする倉田常務

くらしき
東

モモの冬季管理講習会 剪定のポイントを学ぶ



浅原園芸組合は11月30日、浅原選果場でモモの剪定講習会を行いました。講習会では、備南広域農業普及指導センターの担当者から9月以降の生育状況、冬季剪定の注意点や摘蕾摘花の方法、病虫害防除などの説明がありました。

その後、圃場に移動して樹勢のコントロールを目的とした剪定作業の実演も行われ、生産者は剪定作業のポイントなどを学んでいきました。

くらしき
東

早島町直売所が周年祭 利用者100万人に

早島町直売所ふれあい青空市の利用者数が12月1日、100万人を突破しました。

当日は、18周年祭を行っており、屋台コーナーの他、野菜・果物の詰め放題や餅つきの実演販売も行われ、目当ての品を買い求める来場者で賑わいました。100万人目の来店者は早島町在住の安原幾恵さんで、「思いがけず100万人目選ばれて嬉しい。地元産の野菜などが買えるのでこれからも利用したい。」と話していました。



来場100万人目の記念品を贈られた安原さん(右)



人気のみかん詰め放題

セレモニーでは、100万人来店記念として、同直売所出荷者の会の安原稔会長がくす玉を割り、永原元副会長より早島町産の果物詰合せが贈られました。

早島町直売所出荷者の会会員は現在115人で、出荷者の努力により、朝採りの新鮮な野菜や果実など生産者の顔の見える商品を消費者に届け、地産地消に努めています。

■くらしき東エリア/倉敷市・早島町 ■倉敷西エリア/倉敷市玉島・倉敷市船穂町・浅口市・里庄町
■吉備路エリア/総社市・倉敷市真備町 ■西部エリア/井原市・高梁市川上町弥高

くらしき東 体験学習で農業を身近に 食農教育の大切さを学ぶ

倉敷市立菅生小学校

5年生の児童85人は11月22日、菅生直売所ふれあい青空市「ずがお」出荷者の会の協力ののもと、菅生地区の圃場で稲刈り体験を行いました。最初は慣れない手つきで刈り取っていましたが、終わり頃には慣れた様子を見せていました。参加した児童たちからは「腰が痛い」という声も聞かれ、お米作りの苦勞を知ることが出来ました。



皆で協力して稲刈り(菅生小学校)

早島町立早島幼稚園



(生懸命掘ったよ早島幼稚園)

年長組の園児44人は12月10日、早島町直売所ふれあい青空市出荷者の会の協力のもと、早島町地区の圃場でサツマイモ掘り体験を行いました。

園児たちは宝探しのように土の中から大きなサツマイモを見つけると、楽しそうに掘っていました。なかなか掘ることが出来なかったサツマイモも出荷者の会の方や友達と協力して掘ることが出来ました。

倉敷西

サツマイモの食べ比べ 地域の次世代に食農教育

里庄支店は11月30日、里庄町立里庄西小学校児童クラブで、児童90人にサツマイモを使った食農教育を行いました。児童は、支店職員が栽培した4品種(鳴門金時、紅あずま、紅はるか、安納芋)の蒸したサツマイモを見て「どのイモが一番おいしいかな」など話しながら食べ比べをしました。職員が、サツマイモは昔、中国から伝わってきたことなどを話すと、児童は「もともと日本にあるものと思っていた。意外だった」と、驚いていました。



サツマイモを食べ比べる児童

倉敷西

歴史と文学といで湯のまちを巡る 浅口園芸部が研修旅行

浅口園芸部は12月4日、1泊2日で兵庫県へ研修旅行に行きました。今年度の反省と次年度の生産意欲向上を目的に、28人の部員が参加しました。

1日目は、余部鉄橋や大乘寺を見学後、城崎温泉で今年の疲れを癒しました。また、翌日には、ファーマーズマーケット「たじまんま」を見学し、部員相互の親睦を深めることができました。



参加した皆さんで記念撮影

倉敷西 はつらつ女性部活動

「男の料理」を開く

女性部金光支部は11月28日、「男の料理」を開きました。今回は、13人の方が参加して秋の味覚のキノコを使ったレシピやサケの照り焼き、こんにゃくとエリンギの味噌炒め、のっぺい汁など5品を作りました。参加者は「家でも作れそう」「美味しかった。また来年も参加したい」と話されました。



会話も弾み楽しく料理をしました

復興支援バザー

倉敷西ブロック女性部は12月1日、西日本豪雨の復興支援バザーをメルカートたまきた果菜館前で開きました。微力ながら被災された方の力になりたいと思う気持ちで、各支部女性部員から提供された生活用品、手作り品、食品などを販売しました。当日の売り上げは、全額義援



大盛況のバザー会場

お正月に向けた「料理教室」

女性部鴨方支部は12月5日、21人が参加して料理教室を開きました。



手際よく調理しました。

J A岡山厚生連の大森豊子講師によるお正月料理で、牛肉の野菜巻き、辛子蓮根、ふくさたまご等を作りました。一足早いお正月料理に「見た目も綺麗で美味しく、家でも作ってみたい」などの感想が聞かれました。

吉備路

お手玉大会を開催 活気あふれる女性部活動

吉備路ブロック女性部は12月13日、吉備路アグリセンター2階でお手玉大会を開きました。開催にあたっては、7月の西日本豪雨被害もあり中止するか否か検討していましたが、楽しみにしている部員も多く実施することとなりました。

競技は、団体戦と個人戦で行い、どのチームも熱戦を繰り広げました。結果は以下の通りです。(敬称略)

【団体戦】

- 1位 清音チーム
- 2位 服部チーム
- 3位 川辺チーム
- 4位 二万チーム

【個人戦】

- 片手 2個ゆりの部
 - 1位 河田 瑞恵
 - 2位 向原 知子
 - 3位 大浜 リエ
- 両手 2個ゆりの部
 - 1位 中村 須美子
 - 2位 小野 峯子
 - 3位 川端 悠紀子

●両手 3個ゆりの部 (シヤグリング)

- 1位 高崎 美代子
- 2位 河田 啓子
- 3位 上原 弥恵子
- 両手 3個ゆりの部 (シヤグ)
- 1位 吉澤 和子
- 2位 榎村 靖子
- 3位 鍛野 弘子



お手玉競技を行う女性部員

■くらしき東エリア/倉敷市・早島町 ■倉敷西エリア/倉敷市玉島・倉敷市船穂町・浅口市・里庄町
■吉備路エリア/総社市・倉敷市真備町 ■西部エリア/井原市・高梁市川上町弥高

吉備路 野菜作りの基礎を学ぶ 生活学級の一環として

女性部真備支部は11月30日、真備西支店2階で野菜学級を開きました。この講習は、年に5回程度開催し、季節に合わせた野菜づくりの勉強をしています。

7月の西日本豪雨の影響で畑が作れなくなった部員の方も多く、今回は7人の出席となりました。当日は、専任営農指導員が講師となり、土作りや肥料の施肥の仕方など、野菜作りの基本について学びました。



真剣に講習を受ける参加者

吉備路 お正月を迎える準備 「門松風寄せ植え教室」を開く

女性部真備支部は12月21日、真備西支店2階で住倉学園の職員の方と営農担当職員の指導のもと、20人の部員が参加して「お正月門松風寄せ植え教室」を開きました。

この教室は、大変好評で毎年参加する部員も多く、松、竹、南天、葉ボタンなどを使って、手際よくあつという間に寄せ植えが出来上がりました。

参加者からは「これで気持ち良くお正月を迎えられる」などの感想が聞かれました。



寄せ植え作りに取り組む参加者

西部 あたごっち大作戦 旬のくだものをPR

井原市青野町の「ぶどう浪漫館」で11月25日、あたご梨・あたご柿の収穫時期に合わせたイベント「あたごっち大作戦」が盛大に開かれました。井原地区あたご会は、あたご梨とあたご柿の試食会を行い、来場者にPRしました。本年は天候の影響により、果実は小ぶりですが味については申し分なく、来場者は「美味しい」と喜んでたくさん買っていました。井原北支店は、毎年好評のうどんの販売を行い、早々に完売となりました。



試食のあたご梨あたご柿を味わう来場者

西部 女性大学第3回講座を開く ジャム作り体験

西部ブロック女性部は11月29日、女性大学第3回講座を行いました。

今回は、広島県竹原市のアヲハタジャム工場で、ブルーベリージャム作りを体験しました。社員の方からアヲハタの名称の由来や工場の成り立ちなどの説明を受けたのち、部員が2人一組でジャム作りをしました。自分たちで作ったジャムは特別美味しく感じられました。また、午後には、竹原市の古い街並みをゆっくり散策するなど、楽しい一日を過ごすことが出来ました。



ジャム作りを楽しむ女性部員

西部 明治ごんぼうPR販売会 東京でトップセールス

J A岡山西とイオンリテール、生産者組織の明治ごんぼう村運営協議会、井原市、岡山県などで組織する明治ごんぼう振興協議会は12月8日から15日まで、首都圏など都市部のイオン店舗で明治ごんぼうのPR販売を行いました。今年は、東京のイオン品川シーサイド店やイオン広島府中店をはじめ、岡山、倉敷などでも行いました。イオン品川シーサイド店では、大舌煎井原市長がトップセールスを



明治ごんぼう宣伝隊壮行式の様子



イオン品川シーサイド店でトップセールスを誇る大舌市長(中央)

を行い、用意した明治ごんぼうを手売り込みをかけた。同協議会はPR販売に先立ち12月2日、明治ごんぼう村で行った「明治ごんぼうフェスティバル」の会場で宣伝隊の壮行式を行いました。生産者や地域おこし協力隊員などの協議会員10人が、真新しい法被や販促グッズを手には「全国PRに向けて頑張ろう」と決意を述べていました。

西部 ふれあい企画旅行 鳥取砂丘カニのフルコース

井原東支店は12月7日に33人、芳井支店は12月9日に36人が参加して支店企画旅行を行いました。

鳥取県の賀露港で買い物をした後、鳥取砂丘センターでカニフルコースを頂きました。旬の時期に水揚げされたものを産地で食べるのはとても美味しく、参加者は感動していました。

支店企画旅行は、各支店で年に1回以上開催しております。皆さまの参加をお待ちしています。



旬の味覚を堪能する参加者

西部 お米パーティーで収穫を祝う 園児がおにぎり作り

井原市立西江原幼稚園で12月11日、毎年恒例の「お米パーティー」が開かれました。

この会では、年長組園児が年間を通してお米を育て、田植え、稲刈りをしたお米を使用しておにぎりを作りました。また、園児たちが栽培した黒大豆と玄米で作ったポン菓子も、おやつとして出されました。

この取り組みは、食農教育の一環として毎年行われており、保護者にも大変好評いただいているそうです。



自分たちで作ったおにぎりを味わう園児